

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393600057
事業所名	グループホームえんなり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2) 利用者は地域の行事(神社の祭りなど)に参加したり、散歩、買い物、おやつの買いだしなどで地域の方と挨拶を交わし日常的に交流している。法人主催の秋祭りは、地域の方々の参加が200名以上あり、交流が広がっている。障害児デイサービスの児童が踊り、肩たたきなどで来訪している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3) 年6回、市職員、地域包括職員、民生委員、区長、家族などの参加で実施され、グループホームの状況や活動を報告している。報告事項は事故やヒヤリハットを議題として挙げており、また、レクレーションの内容、場所など情報交換を行っている。その他では感染症対策、他施設での事故事例などが話し合わせ、サービス向上に活かしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4) 管理者は市主催の運営推進会議、江南市認知症部会、事業者連絡会などに参加して情報収集、意見交換などで市担当者と連携を図っている。また、江南市が企画している市の運営推進会議に参加して他グループホームの情報を得ている。介護関係の講習案内等があれば積極的に参加するよう心掛けている。法人母体病院建物内に地域包括支援センターがあり、日頃から連携をしている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6) 利用者とは日常的に話し合い意見を吸い上げ福祉サービスに反映している。入所時には家族からの意向や生活習慣、趣味などをきめ細かく聞き取り施設での生活に反映させている。また、毎月の「ネクススレター」や「入居者様状況報告」を家族へ郵送し、感想や意見を訪問時に伺っている。利用者家族の訪問時に面談を行い、要望や意見などは職員会議で話し合い、運営に反映させている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価				○	×	×	○	×	×	○	